

経済レポート

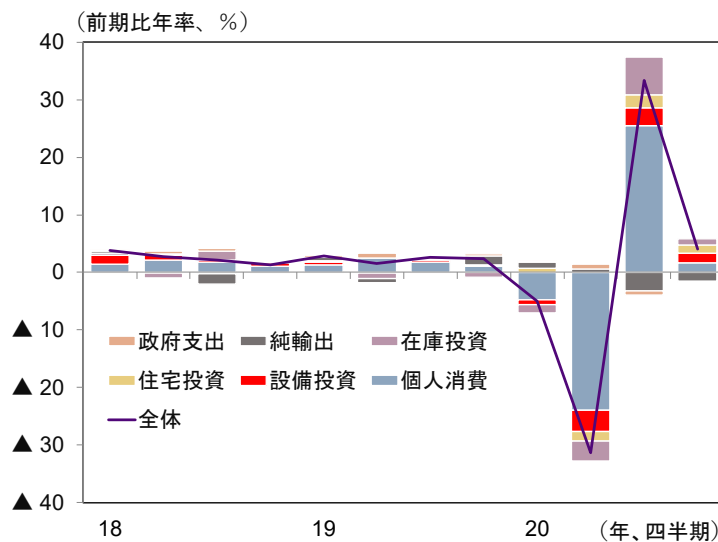
米国景気概況(2021年3月)

調査部 主任研究員 細尾 忠生

概況 ～ 景気は持ち直しの動き

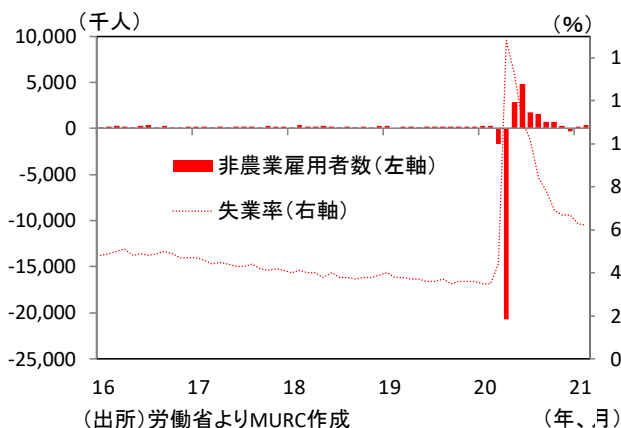
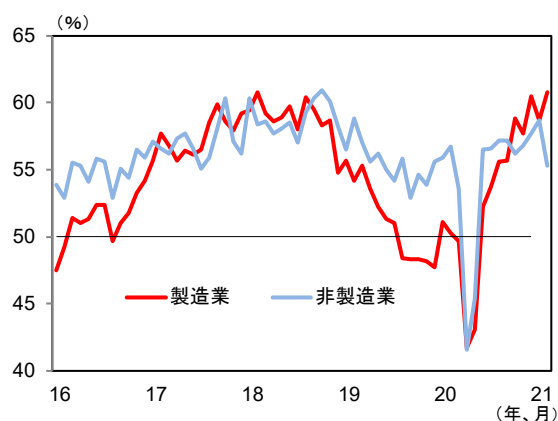
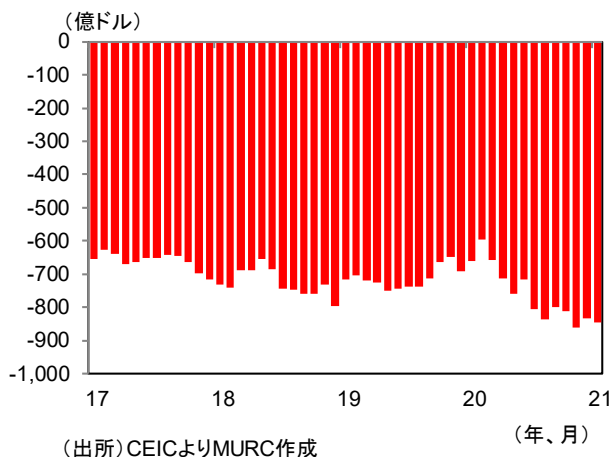
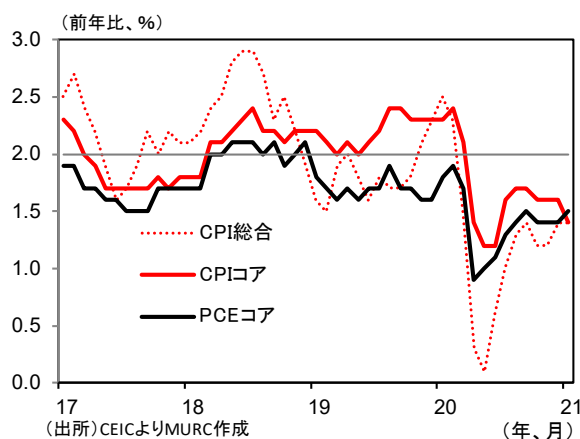
- 米国経済は持ち直しの動きが続いている。昨年10-12月期の実質 GDP 成長率（改訂値）は、新型コロナ感染再拡大の影響などから前期比年率+4.1%と7-9月期の大幅増からは減速した。もっとも、昨年末に成立した総額9,000億ドルの追加経済対策の効果もあり、新型コロナの感染が再拡大した中でも、小売売上高など1月以降の主要経済指標は再加速した。
- また、総額1.9兆ドルのさらなる経済対策が、今月中に成立する見通しである。失業保険手当の拡充延長や個人への1400ドルの現金給付、児童税額控除の拡大などが盛り込まれている。ワクチン接種の普及も進み、今後、景気の回復ペースは一段と加速する見通しである。

図表1：実質 GDP 成長率の推移（改訂値）



【経済指標】

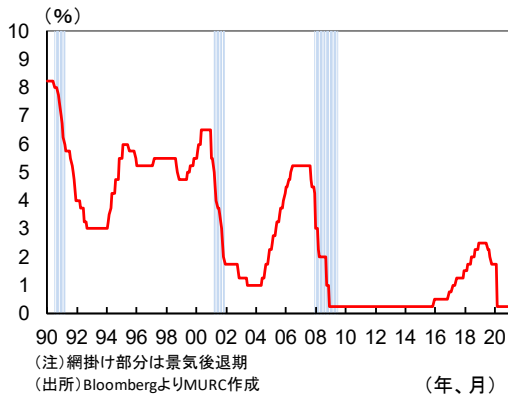
- ・ 2月の非農業部門雇用者数は前月差+37.9万人と4ヶ月ぶりの増加幅となり、失業率は6.2%に改善した（図表2）。もっとも、雇用者数はコロナ前を約950万人下回っているほか、失業率も依然として高水準であり、雇用の回復ペースは鈍い。
- ・ 企業部門では、1月の鉱工業生産は前月比+0.9%増加した。コンピューター・電子部品などが生産の増加に寄与した。設備投資の先行指標である1月のコア資本財受注は同+0.4%と9ヶ月連続で増加した。企業の景況感を示す2月のISM景況感指数は製造業60.8、非製造業が55.3と、好不況の目安となる50の水準を上回った（図表3）。
- ・ 対外部門は、1月の財輸出は前月比+1.5%、財輸入は同+1.6%と、いずれも8ヶ月連続で増加し、貿易赤字（財）は▲846億ドルに拡大した（図表4）。国別にみると、最大の赤字国である対中国（▲272億ドル）の赤字幅はわずかに縮小したが、対メキシコ（▲119億ドル）などの赤字幅が拡大した。
- ・ 物価指標のうち、FRBが重視するコアPCEデフレーター上昇率は、1月に前年比+1.5%と前月から小幅上昇した（図表5）。

図表 2. 雇用統計

図表 3 : ISM 景況感指数

図表4 貿易収支

図表5 消費者物価


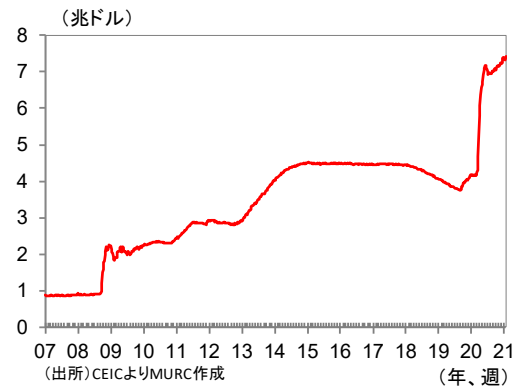
【金融政策・金融市場】

- FRBは、1月26日～27日に開催した連邦公開市場委員会（FOMC）で、ゼロ金利政策と量的緩和策の継続を決定した（図表6、7）。また、パウエル議長は2月23～24日に開催された半期ごとの議会公聴会で、雇用とインフレ率の目標が達成されるまで金融緩和を継続する方針を改めて強調した。
- 金融市場では、景気回復期待などを背景に、ダウ平均株価は2月24日に過去最高値を更新し（31,961ドル）、長期金利は上昇した（図表8、9）。長期金利の上昇ペースが速く、株価はこのところ上下の変動が大きく不安定な動きが続いている。

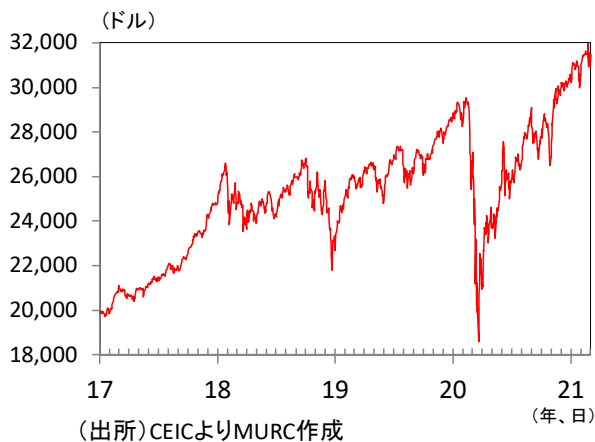
図表6：政策金利



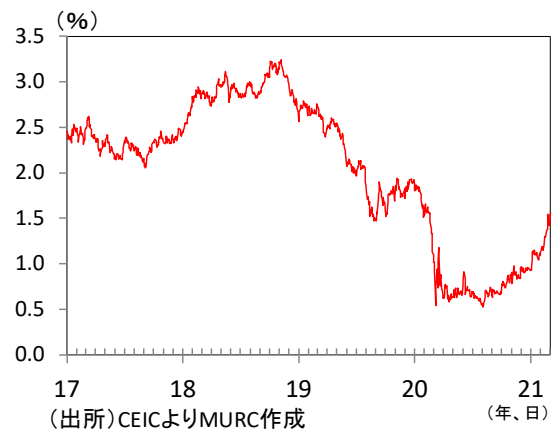
図表7：FRB総資産



図表8. NY ダウ平均株価



図表9：長期金利



ご利用に際して ー

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 E-mail: chosareport@murc.jp, 担当: 細尾 (03-6733-4925)